

# 抗 議 文

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 閣下

貴国は、9月15日にネバダ州の地下核実験場で24回目となる臨界前核実験を実施した。

本市をはじめとする核兵器廃絶を願う国際世論、また核実験中止を求める多くの声を無視し、核実験を強行したことは、核軍縮を希求する国際社会はもとよりノーベル平和賞受賞者である貴殿が掲げる「核兵器なき世界」に逆行する行為であり、誠に遺憾である。

また、このことは人類史上最初の被爆地である広島を踏みにじるものであり、強い憤りを覚えるとともに、三次市民を代表して貴国の度重なる暴挙に厳重に抗議し、今後において全ての核実験の中止を強く求める。

今こそ強調しなければならないことは、核兵器の拡散を防ぎ、早急に廃絶する筋道を定めることである。貴国が、国連安全保障常任理事国として、核兵器のない平和な世界の実現に向け、全力を尽くすよう強く要請する。

平成22年（2010）10月13日

日本国広島県三次市長 村 井 政 也